

## 7. 高大接続事業

高大接続事業の一環として8月に高校生向け「公開講座」、2月に「高校生ワークショップ」を計画し、本学教育学部等を進学に、さらには教員を目指す生徒を対象に事業を展開した。

### (1) アドミッションセンターとの連携による「公開講座」

公開講座「令和の時代の教師を考えよう」を8月18日に実施した。全県下、県立高校15名私立高校15名計30名の参加があった。コロナ禍も有り、Zoomを使ってのオンラインで行われた。各班に別れ、話し合いプレゼンテーションを行うという活動を大学授業2コマ分で実施した。時間的にはタイトだったにもかかわらず、各班工夫してより良い発表ができた。

### (2) 本センター主催の高校生ワークショップ

1月28日(土)に、高校生ワークショップを本全学教職センターの主催で行った。教職に興味がある、あるいは将来教師を目指そうと考えている水戸市近郊の県立高等学校1年生と2年生を対象にした。「令和の時代の教員とは」というテーマのもと、Zoomを活用して参加生徒たち話し合いづくりあげ最後はPowerPointのプレゼンテーションをする構成だった。各班での話し合い活動を通し、本学教育学部等への入学意識や教員になろうとする思いを高める時間となった。5校19名のエントリーがあり、急に参加できない生徒を除き、17名が参加した。

高校生たちは、当日午前10時の開催から夕方4時過ぎまで、活発な話し合いや各班ごとのプレゼンテーション資料の作成と充実した1日になった。日頃から高校生たちは、クロームブックやi-Pad等を授業等で使用していることもあり、動画の導入等年々プレゼンテーションも充実し立派に発表ができた。

### 【高校生のプレゼンテーションの資料から】

